

令和2年度事業計画

I 公益目的事業 [1]

(1) 研究発表会事業

- 1) 2020年春季低温工学・超電導学会（通算第99回）
 - ・会期：2020年5月19日～5月21日
 - ・会場：横浜市開港記念会館（横浜市）
- 2) 2020年秋季低温工学・超電導学会（通算第100回）
 - ・会期：2020年12月8日～12月10日
 - ・会場：京都大学百周年時計台記念館（京都市）
- 3) 調査研究会として、次の4テーマを実施する。
 - ・「磁気遠隔力の空間的・時間的制御とその応用に関する調査研究会（2019～2021年度）」（継続）
 - ・「高温超伝導バルク材の基礎と応用調査研究会（2019～2021年度）」（継続）
 - ・「超電導応用における循環冷却システム調査研究会（2018～2020年度）」（継続）
 - ・「中温度域超伝導材料の性能向上と実用化」（2020～2022年度）（新規）

(2) 学会誌出版事業

- 1) 第55巻3号～56巻2号の6冊を発行する。
- 2) 特集テーマとして以下を予定している。
 - 55巻3号：超電導技術を応用した磁気分離の現状と産業化に向けた取り組み
 - 55巻4号：高温超電導線材の実用化を加速する超電導接続・低抵抗接続
 - 55巻5号：ITER トロイダル磁場コイルの製作技術（1）（仮）
 - 55巻6号：ITER トロイダル磁場コイルの製作技術（2）（仮）
 - 56巻1号：極低温における精密計測技術（仮）
 - 56巻2号：最先端分野で活躍する超伝導エレクトロニクス技術（仮）

(3) 国際交流事業

- 1) 国際交流奨励賞：若手研究者の国際交流支援を目的に褒賞選考委員会に協力する。
- 2) 第5回アジア超電導スクールを日中韓の連携によって実施する。韓国にて実施予定。
- 3) 2021年開催予定の本学会主催のMT27開催の準備を行う。
- 4) 委員会の運営に関する討議、Asian-CSCへの協力：アジア地区超電導関連会議に関する討議を実施する。
- 5) IEEE CSCとの覚書に基づく協働活動を実施する。
- 6) ESASとのMOU締結ならびに協働活動を実施する。

(4) 広報・広告関連事業

- 1) プレスリリース等社会に対する広報広告活動を実施する。
- 2) 学会員、賛助会員及び支部の事業会員への広報活動を実施する。

- 3) 学会ホームページのリニューアル活動を継続する。
- 4) 一般社会向け技術ロードマップを作成する。
- (5) ホームページ事業
 - 1) ホームページの維持・更新を継続する。
 - 2) ホームページの機能充実を図るため、広報・広告委員会、基盤強化委員会と連携しホームページのリニューアルを行う。
- (6) 教育・セミナー事業
 - 1) 秋季低温工学・超電導学会開催時に市民公開講座を開催する。
 - 2) 子どもゆめ基金を活用した市民公開講座を実施する。
- (7) 環境・安全関係事業
 - 1) 安全技術関連技術調査を実施し、マニュアルを作成する。
 - 2) 関連情報の入手のため、安全工学シンポジウムを共催する。
- (8) 研究会事業
 - 1) 材料研究会として、シンポジウムを計4回開催する。
 - 2) 超電導応用研究会として、シンポジウムを4回開催する。
- (9) 関西支部事業
 - 1) 定例講演会を5月、8月、1月に計3回開催する。
 - 2) 若手合同講演会を11月に開催する。
 - 3) 基礎技術講習会を9月に開催する。
 - 4) 関西支部総会を5月に実施する。
 - 5) 関西支部会員向け報告書を作成。
- (10) 東北・北海道支部事業
 - 1) 東北・北海道支部総会を4月に開催する。
 - 2) 市民公開講演会を11月に開催する。
 - 3) 若手セミナーを1回開催する。
 - 4) 九州・西日本支部との交流事業として講師を派遣する。
 - 5) 東北・北海道支部研究会を1回開催する。
 - 6) 役員会を年3回開催する。
- (11) 九州・西日本支部事業
 - 1) 九州・西日本支部支部総会・企業からの講師による技術セミナーを4月に開催する。
 - 2) 若手セミナー・支部成果発表会を1回開催する。
 - 3) 研究会・外国人著名研究者の特別講演会を1回開催する。
 - 4) 支部内の活動ならびに低温・超電導技術に関する報告をまとめた超電導・低温技術レポート2020をまとめる。
 - 5) 役員会を4回開催する。
 - 6) 支部長賞及び支部奨励賞を授与する。
- (12) 冷凍部会事業
 - 1) 例会として、冷凍技術等に関する講演会、見学会等を年間7回実施する。また、海外で開催された学会の中から最新技術動向等の報告会を開催する。
 - 2) 委員会として、例会事業、併設展示会、低温技術講習等の事業に関する実行計画、及び次年度実施事業計画を策定する。
 - 3) 春季、秋季低温工学・超電導学会発表会において学会併

- 設展示会を開催する。
- 4) 前年度の講演会を取り纏めた年間講演集を発行し、会員に配布する。
 - 5) 冷却・冷凍・超電導に関する装置を製作し、その原理等を易しく説明する低温技術講習会を実施する。講習会対象者を学会員以外にも広げ、低温工学・超電導工学の啓蒙を図る。
 - (13) 基盤強化事業
 - 1) 委員会を4回実施する。
 - 2) 若手研究者を対象とした若手技術セミナーを9月に開催する。
 - 3) 春季低温工学・超電導学会において特別セッションを企画・実施する。
 - 4) デモ機コンテストを10月に実施する。
 - 5) 若手の会のセミナーを11月に開催する。
 - 6) 若手研究者海外WS、出前授業、若手研究者への情報発信手法を検討する。また、市民公開講座へ協力する。
 - (14) 学会誌出版事業強化事業 学会誌発行に関し、事業の維持強化を図る。
 - (15) 国際会議準備事業 国際交流委員会の協力を得て、国際会議の準備を行う。

II 公益目的事業 [2]

(1) 褒賞事業 (氏名等は4月理事会後に記載する)

1) 令和2年度褒賞

- ・論文賞 (低温工学 第53巻、第54巻)

受賞者：

受賞対象論文：「低温工学」第 巻号 (~) 頁

- ・技術進歩賞：(低温工学 第53巻、第54巻)
- ・解説論文賞：(低温工学 第54巻)

・奨励賞

受賞者：

受賞者：

- ・業績賞 (学術業績)：
- ・業績賞 (工業技術業績)：
- ・功績賞 (学術・技術功績)：
- ・功績賞 (学会活動功績)：
- ・優良発表賞 受賞者：
- ・国際交流奨励賞

2) 令和元年度フェロー顕彰

フェロー認定者 応募者なし

III 法人関連事業 (共催、協賛及びシンポジウム・講演会等)

1. 社員総会・理事会等に関する事項

(1) 第10回社員総会

- 1) 日時：2020年5月20日
- 2) 場所：横浜市開港記念会館 (横浜市)
- 3) 議案：令和元年度事業報告および決算報告 役員の選任
- 4) 報告：令和2年度事業計画および予算計画

- (2) 理事会開催 定例4回 臨時1回
- (3) 運営委員会開催 4回

2. 共催、協賛及び後援のシンポジウム・講演会等

- (1) 低温工学・超電導学会主催「第99回2020年度春季低温工学・超電導学会」2020年5月19日～21日 (横浜市開港記念会館) 協賛：応用物理学会、電気学会、日本機械学会、日本表面真空学会、日本物理学会、日本冷凍空調学会、以上6団体
- (2) 日本伝熱学会主催「第57回日本伝熱シンポジウム」
共催：2020年6月3日～5日 (於：石川県地場産業振興センター)
- (3) 日本機械学会主催「第25回動力・エネルギー技術シンポジウム」協賛：2020年6月18日～19日 (於：北海道大学 学術交流会館)
- (4) 日本原子力学会核融合工学部会、プラズマ・核融合学会主催「第13回核融合エネルギー連合講演会」協賛：2020年6月11日～12日 (於：八戸市公民館)
- (5) 日本学術会議・総合工学委員会主催「安全工学シンポジウム2020」共催依頼 2020年7月1日～3日 (於：日本学術会議)
- (6) 第29回低温物理学国際会議組織委員会主催「第29回低温物理学国際会議 LT29」協賛依頼 2020年8月15日～22日 (於：札幌コンベンションセンター)
- (7) 日本表面真空学会主催「The 9th International Symposium on surface Science (ISSS-9)」協賛依頼 2020年11月15日～19日 (於：サンポート高松)
- (8) 低温工学・超電導学会主催「第100回2020年度秋季低温工学・超電導学会」2020年12月8日～10日 (京都大学百周年時計台記念館) 協賛：応用物理学会、電気学会、日本機械学会、日本表面真空学会、日本物理学会、日本冷凍空調学会